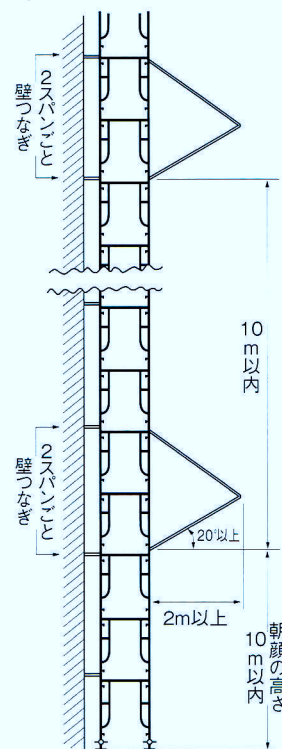


## 朝顔

▶朝顔は工事中の落下物による危険防止上必要な部分に設けます。

- (1)高さ10m以上の足場では1段以上、高さ20m以上では2段以上設けて下さい。また、1段目は地上より10m以下、(一般には4~5m)の位置とし、2段目以上では下段の朝顔から10m以下に設けて下さい。
- (2)朝顔の突出し長さは2m以上とし、水平面に対する傾きは20以上とします。
- (3)朝顔本体の取付位置は建枠のジョイント部に近いところとします。また建枠に偏心荷重がかかるので、朝顔本体の位置に、壁つなぎを最低でも2スパンごとに設けて下さい。

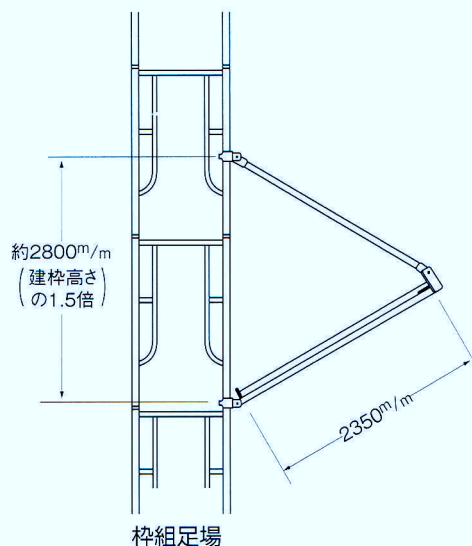
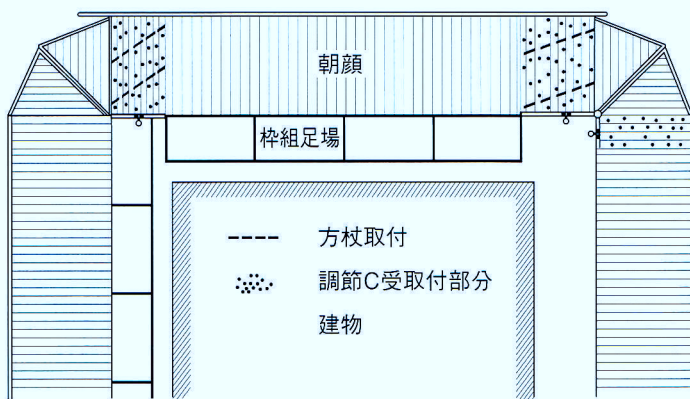


朝顔を上图の位置にセットした場合、突き出し長さは2m、傾きはおよそ36°~37°になります。

## ●取付平面図

2方向からの枠組足場の角(かど)がそろわない時は、足場の延長交差に単管を立てた上隅朝顔を組立てる。

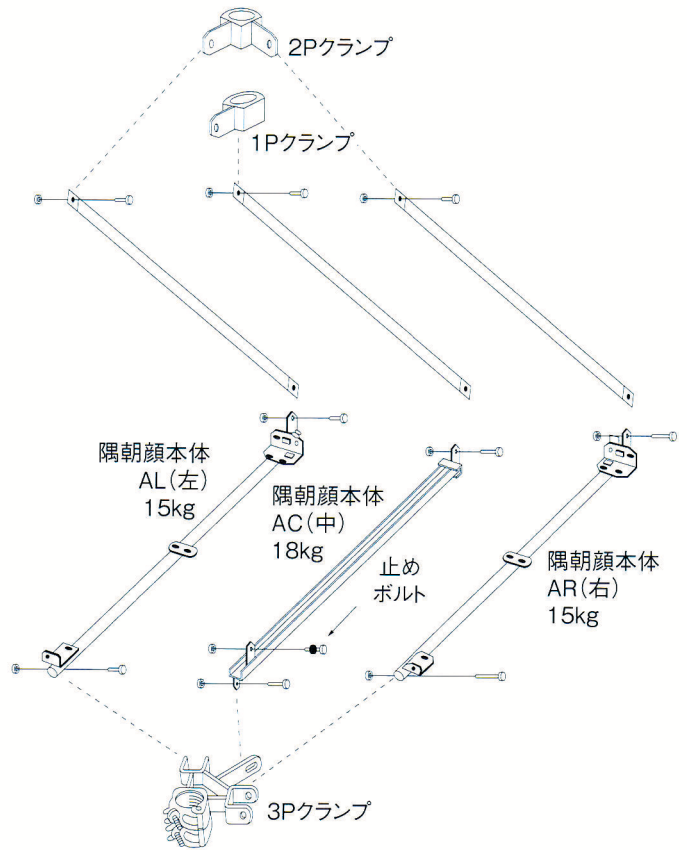
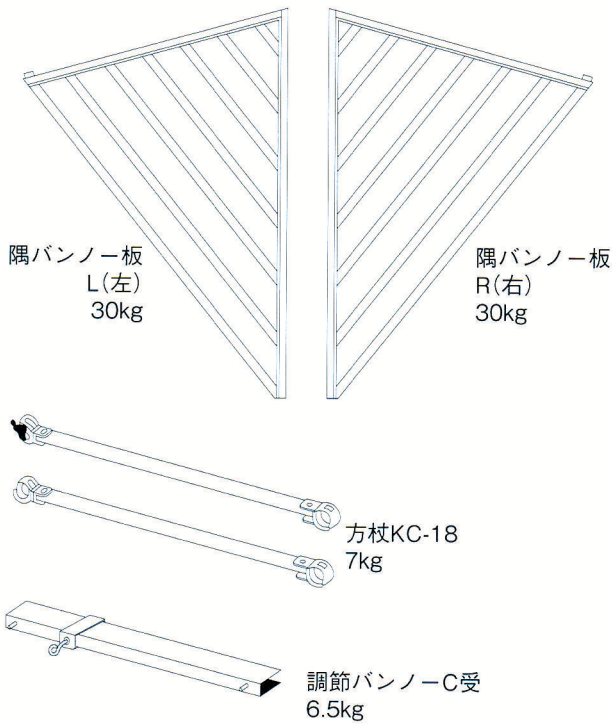
下図のように枠組足場がそろわない時は、足場の延長交差に単管を立てた上隅朝顔を組立てる。



## ●取付平面図

品名	品番	製品重量	全長	1スパンの数量
朝顔本体	A-2006	15.00kg	2350mm	1 + 1
万能L受	A-2006A	6.20kg	1819mm	1
万能押さえ	A-2006B	4.30kg	1810mm	1
万能C受け	A-2006D	5.50kg	1819mm	1
振れ止め	A-2006C	2.90kg	2088mm	2
万能板A	300 × 2350	11.20kg	2350mm	6.1

●構成部材

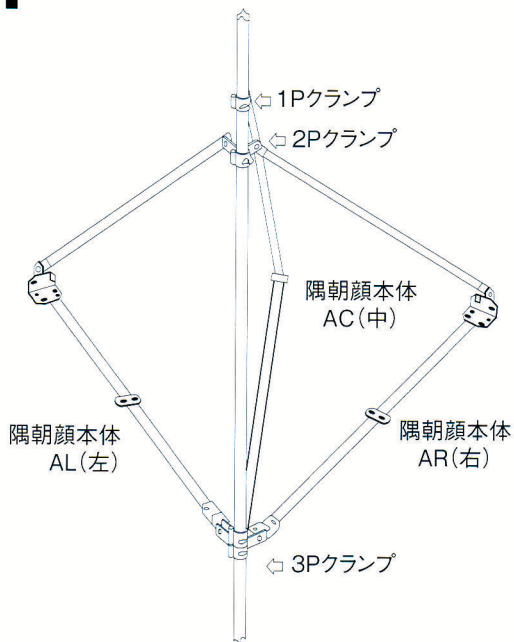


朝顔・隅朝顔  
【落下物防止用部材】

標準品 C-1000/1400(調節範囲1000%~1500%)  
特サイズ C-600/1000(調節範囲600%~1000%)

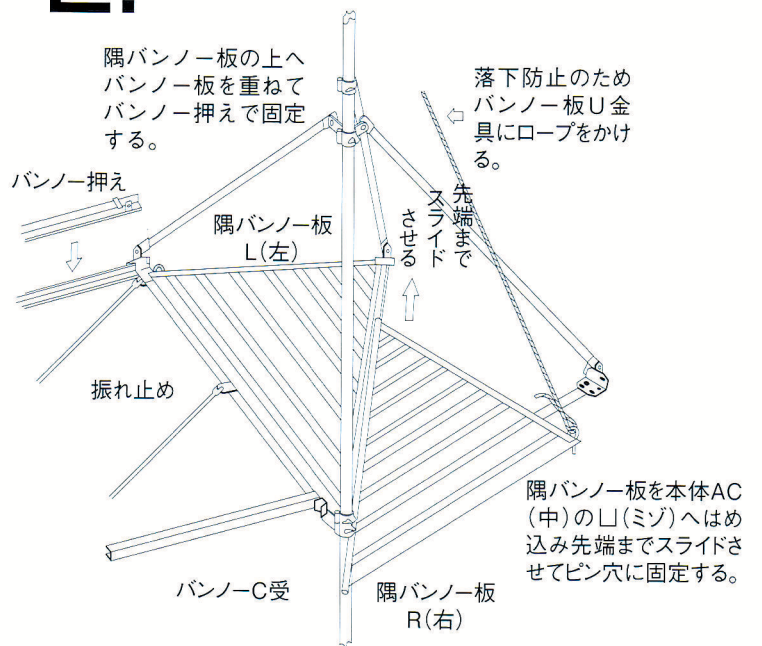
●組立順序

1.



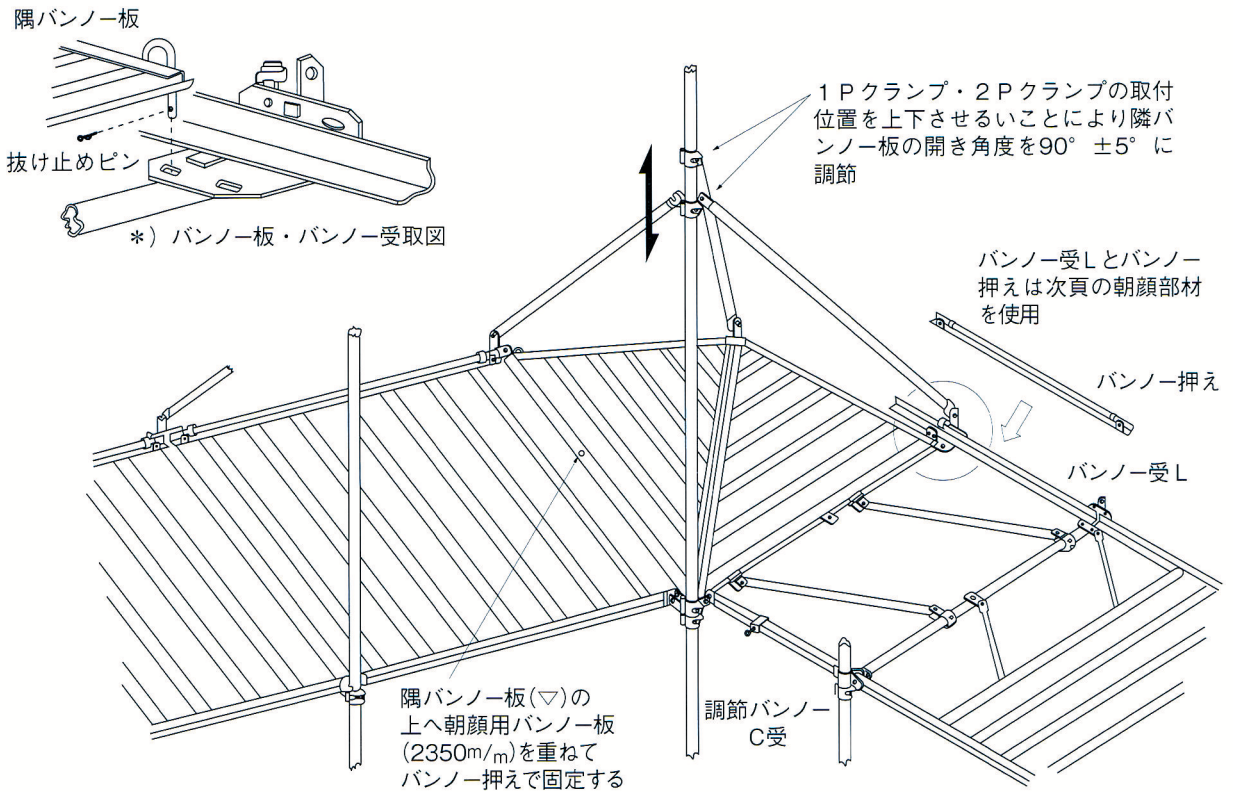
1P・2P及び3Pクランプを建柱に取付ける。  
次に隅朝顔本体AL・(左)AC・(中)AR・(右)を各クランプにボルト・ナットで取付ける。

2.



朝顔振れ止めで隅朝顔本体AL(左)又はAR(右)を固定した後障バンノー板をスライドさせてピン穴に固定する。

# 3.



朝顔・隅朝顔  
【落下物防止用部材】

調節バンノー C受使用空間は万杖KC-18 2本を取付けて振れ止めの働きをさせる。  
調節バンノー C受は使用空間の長さにより標準品と特サイズの2機種を用意してあります。

## ■防音パネル用朝顔クランプ

品名	品番	製品重量	品名	品番	製品重量
防音パネル用3Pクランプ	KO-3P#	2.22kg	防音パネル用Y字クランプ	A-2350Y1	0.90kg
防音パネル用2Pクランプ	KO-2P#	0.90kg	防音パネル用1Pクランプ	KO-1P#	0.67kg

<p>3P クランプ (防音パネル用)</p> <p>兼用クランプ</p>	<p>Y字クランプ (防音パネル用)</p> <p>兼用クランプ</p>
<p>2P クランプ (防音パネル用)</p>	<p>1P クランプ (防音パネル用)</p> <p>兼用クランプ</p>

(注)防音パネル用朝顔クランプを取り付けてメッシュシートを使用した場合、シートと朝顔のすき間が大きくなります。